

省エネ・省資源導入モデル事業

～マテリアルフローコスト会計(MFCA)導入支援を希望される
企業を募集しています！～

募集期間:平成 23 年 6 月 3 日(金)～7 月 4 日(月)

財団法人堺市産業振興センターでは、資源やエネルギーのロスを「見える化」し、経営の効率化やコストダウンを図ることで中小企業の競争力を強化する目的で、経営効率向上と環境効率向上の両立を図る手法として期待されているマテリアルフローコスト会計(MFCA)普及推進のため、省エネ・省資源導入モデル事業を実施します。

MFCA導入に挑戦するものづくり企業を広く募集します。

財団法人 堺市産業振興センター

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL : (072) 255-6700 FAX : (072) 255-1185

URL : <http://www.sakai-ipc.jp/> / E-mail : sangyo@sakai-ipc.jp

事業目的

M F C Aは、環境効率の向上とコストダウンの両立を図る新たな手法として期待されています。

本事業は、堺市内のものづくり企業への普及、拡大を図るために、その導入事例をつくり、M F C A手法による製造工程のロス分析、工程改善など、具体的な導入事例をノウハウとして蓄積し、情報発信することでM F C A手法を普及させることを目的に実施します。

事業概要

省エネ・省資源の導入を希望する中小企業を募集、審査のうえ専門家を一定期間、無料で派遣し、参加企業の実際の製品、製造工程を対象にM F C A手法導入、運用、実施支援を行います。導入後は、本市の先進的モデル企業として事例集を作成します。

本事業の成果については、他企業への普及促進のため、事例集による情報の公開を前提としております。ただし、情報の公開については、実施企業が不利益をこうむらないように、製造ノウハウなどの機密情報を公募資料から省略、または簡略化いたします。

公募要領

(1) 公募の対象

☆堺市に本社又は主たる活動を行う事業所を置く中小企業で製造業を対象とします。

(2) 応募の条件

☆モデル事業の実施成果の情報発信にご協力をいただけること。

☆M F C Aに係る会合、データ採取、改善案の策定実施に必要な人員体制を有すること。

(3) 応募企業数 2社

(4) 専門家派遣に係る費用 無料

応募方法

(1) 申請書類

「省エネ・省資源（M F C A）導入モデル事業」申込書（別添様式）

※ 申込書類は当センターのホームページ <http://www.sakai-ipc.jp/> からダウンロードできます。

(2) 添付書類

会社概要、取扱製品・商品パンフレット等。

(3) 応募期限

平成23年7月4日(月)まで

(4) 応募・お問い合わせ先

財団法人堺市産業振興センター 経営支援課
 〒591-8025 堺市北区長曾根町 183-5
 TEL : 072-255-6700 / FAX : 072-255-1185
 担当 : 山田、這越 (はえこし)

モデル事業の流れ

(1) 公募、採択のスケジュール

公募締め切り	平成23年7月4日(月)
応募企業訪問ヒアリング	平成23年7月中旬～下旬
モデル企業決定	平成23年8月上旬

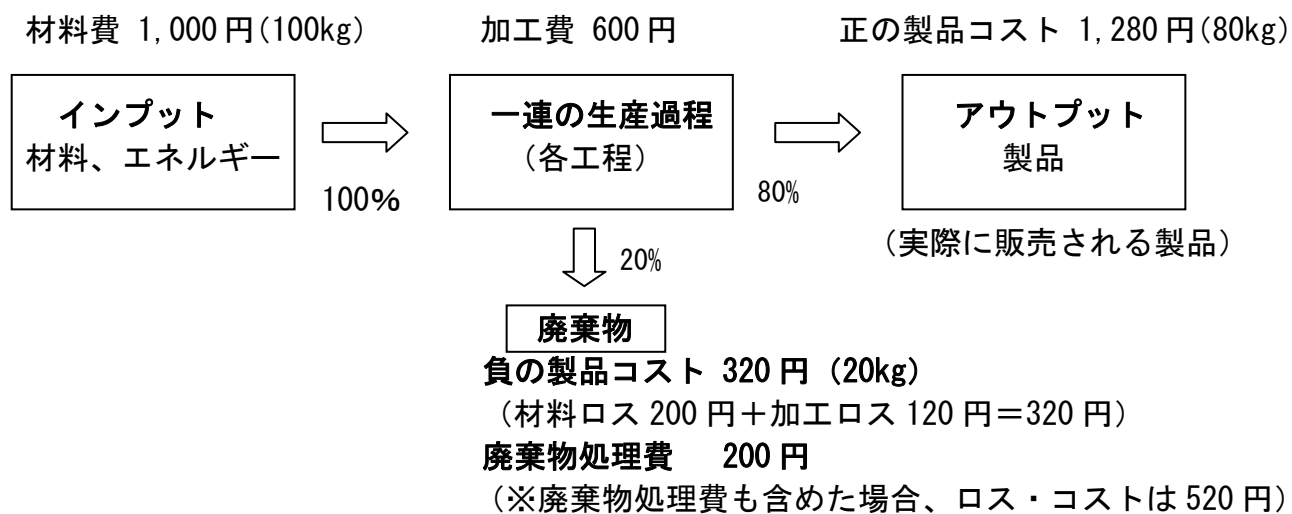
(2) モデル企業の選定

選定においては、有識者で構成する選定審査会（非公開）において、改善効果、制度導入の意思、推進体制等の視点から、モデル事業としての効果が最も期待できる企業を優先して、選定させていただきます。

(3) モデル事業のスケジュール（全6回、予定）

回数	時間	時期	内容
1回目	半日	8月上旬	(研修) 経営層向け・実務者向け ・ MFCA の概論研修、事例紹介
2回目	半日	8月下旬	(研修) 実務者向け ・ 簡易 MFCA 計算ツールの使用方法の解説、実習
3回目	半日	9月中旬	・ 対象工程のラフ分析、物量センター (MFCA 計算上の工程) の決定 ・ 分析対象の品種、期間を決定 ・ 工程別の投入材料の種類、投入物量と廃棄物量のデータ収集方法の決定 ・
4回目	半日	10月中旬	・ 工程別の投入材料の種類、投入物量と廃棄物量のデータ収集、整理状況確認 ・ システムコスト (加工費)、エネルギーコストの按分ルール決定
5回目	半日	11月中旬	・ システムコスト、エネルギーコストのデータ収集、整理状況の確認 ・ 按分ルールの決定、工程別の稼動状況データの収集、整理方法確認 ・ 計算ツール入力方法再確認
6回目	半日	12月上旬	・ MFCA 計算結果の確認と修正 ・ 改善ポイントの抽出、改善案の検討

<マテリアルフローコスト会計の考え方とメリット>



- ・ M F C Aにおける原価計算の考え方を単純な数値で例示しています。
- ・ M F C Aでは、投入した材料費、加工費等のコストを、工程ごとに物量比に応じ、販売可能な「正の製品コスト」と「負の製品コスト」(ロス・コスト)に分離します。

<MFCA 実施のメリット>

- ◆ロス・コスト顕在化によりロスに対する認識の向上
- ◆コストダウンの改善ポイントの明確化
- ◆ロス・コストに付随するその他のロスの発見
- ◆上記に基づく改善策実施によるコストダウンの実現

〈マテリアルフローコスト会計の導入事例〉

企業名	A製菓	B容器	C電子
業種	食品製造・販売業	包装資材製造業	電子部品・デバイス製造業
資本金(百万)	70	310	75.6
従業員数	80人	165人	140人
所在地	茨城	北海道	福島
主な製品	・和洋菓子	・段ボールシート ・段ボール箱 ・包装関連商品	・タッチパネル ・メンブレンスイッチ
MFCA適用製品	洋菓子(モンブラン、 ジェノワーズ、 ガナッシュ)	段ボールシート/ケース	デジタルタッチパネル
対象工程	洋菓子3種の製造工程	製造全ライン	デジタルタッチパネル製造 ライン
主材料	薄力粉、上白糖他	原紙	ロールフィルム ガラス板
テーマ	製菓業におけるMFCA 導入	社内改善活動にMFCA 分析結果を活用	データ測定から改善効果 測定まで一連のプロセス 事例/設備面への活用
成果	・物量とコストが数値デー タとして明確化 ・ロス材料から新種のロー ルケーキを商品化	・詳細なコスト計算により コスト意識が高揚 ・ロス低減、コストダウンの 方向性、優先順位明確化	・不要な工程の排除による ロス削減 ・材料供給業者との連携 によるコストダウン実現
課題	・データによる経営管理の 定着化 ・MFCAデータに基づく、 ロスの少ない製品の開発	・生産管理システムとの リンク ・MFCA活動の継続 展開	・多品種少量生産への 対応 ・製造ライン改善への 活用